

平成23年度 第2回松江市入札監視委員会

議事概要

開催日及び場所	平成23年10月6日(木) 松江市役所 本館北棟3階 入札室	
委員	委員長 朝田 良作(島根大学法科大学院教授) 委員 有田 友子(島根地方労働審議会委員) 上田 務(松江工業高等専門学校名誉教授) 大野 敏之(弁護士) 後藤 勇(公認会計士)	
審議対象期間	平成23年4月1日~平成23年7月31日	
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率等の状況について</li> <li>・入札方式別発注工事等の状況について</li> <li>・指名停止等の運用状況について</li> </ul>	
審議事項	抽出案件数 5件	
	一般	1.松江市立津田小学校屋内運動場建設(建築)工事
	指名	2.市道界橋通線外3線側溝改良工事
		3.松江市総合福祉センター電話交換設備改修工事
	随契	4.美保関町マンホール嵩上工事
指名	5.青木川測量調査業務委託	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見又は勧告の内容	なし	

参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

## 抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	松江市立津田小学校屋内運動場建設（建築）工事		
工期	平成23年7月6日～平成24年3月5日		
工事種別	建築一式工事		
工事概要	小学校屋内運動場の新築工事、旧屋内運動場の解体工事及び付帯工事一式 （改築建物）構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 平屋建 床面積 1363.98㎡ （解体建物）構造 鉄骨造 平屋建 床面積 700㎡		
入札参加資格	<p>営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 特別共同企業体の構成要件 以下の要件を満たす建設業者の二者若しくは三者の組み合わせによって構成される、特別共同企業体であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23・24年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載された建築一式工事の総合点数が951点以上であること（松江市の格付Aに相当）。</li> <li>特別共同企業体の代表者は、元請又は共同企業体（経常JVを除く）の構成員（出資比率20%以上）として、平成9年度以降に完成した公共工事において、1契約で1棟の延床面積が700㎡以上の鉄筋コンクリート造又は鉄骨造の完成した建築一式工事（改修工事を除く）の施工実績を有し、1契約で1億6000万円以上の完成した建築一式工事（改修工事を除く）の施工実績を有していること。</li> <li>特別共同企業体の構成員は、元請又は共同企業体（経常JVを除く）の構成員（出資比率20%以上）として、平成9年度以降に完成した公共工事において、1契約で2500万円以上の建築一式工事の施工実績を有していること。</li> </ul> <p>配置予定技術者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別共同企業体の代表者は、本件工事に対応する建設業法の許可業種に係る監理技術者（1級建築士又は1級建築施工管理技士の資格を有する者）を工事現場に専任で配置できるものであること。</li> <li>特別共同企業体の構成員（代表者を除く）は、国家資格を有する主任技術者（1級建築士又は1級建築施工管理技士の資格を有する者）を工事現場に専任で配置できるものであること。</li> </ul>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯：平成23年4月14日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。		
入札参加資格確認申請業者数	3JV		
入札参加業者数	1回目3JV、2回目2JV	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	309,402,450円		
調査基準価格（税込）	270,916,800円		
契約金額（税込）	304,500,000円（落札率：98.42%）		
無資格理由の説明	該当なし		
入札の経緯及び結果	平成23年5月20日 開札 2回目最低価格者：植尾組・荒木工務店・八光建設特別共同企業体 平成23年5月24日 資格審査の結果、植尾組・荒木工務店・八光建設特別共同企業体に落札決定。（詳細は「入札調書」のとおり。）		

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	市道界橋通線外3線側溝改良工事
工期	平成23年8月3日～平成23年12月26日
工事種別	土木一式工事
工事概要	<p>施工区間延長 L = 126.5m  排水構造物工  道路側溝(A型3種300A) L = 56.1m 他  舗装工  アスファルト舗装(路盤10-15) A = 65m<sup>2</sup> 他  雑工  道路標識・道路反射鏡移設 N = 1式 他</p>
工事のランク	土木一式工事 B等級又はC等級又はD等級
指名業者数	10社
指名業者を選定した考え方	<p>松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、土木一式工事登録のある市内業者のうち、下記 の要件を満たす66社から10社をローテーションにより選定した。  建設業法に規定する主たる営業所が松江市橋南地区にあること。</p>
入札参加業者数	8社(2社辞退)
予定価格(税込)	8,922,900円
最低制限価格(税込)	7,285,530円
契約金額(税込)	8,904,000円(落札率:99.79%)
入札の経緯及び結果	平成23年7月29日開札 (有エムケイ技建に落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。))

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	松江市総合福祉センター電話交換設備改修工事
工期	平成23年4月28日～平成23年6月30日
工事種別	電気通信工事
工事概要	設備の老朽化に伴い、建物内の電話機及びNTT電話回線網に接続して使用するシステムを改修するもの。 電話主装置 1式 電話機 53台
工事のランク	なし
指名業者数	14社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、電気通信工事登録のある市内業者14社から全者を選定した。
入札参加業者数	8社(6社辞退)
予定価格(税込)	3,783,150円
最低制限価格(税込)	最低制限価格を適用しない工事
契約金額(税込)	1,869,000円(落札率:49.40%)
入札の経緯及び結果	平成23年4月26日開札 ティ・ディ・エス(株)に落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)

## 抽出事案説明書

入札方式	随意契約
工事名	美保関町マンホール嵩上工事
工期	平成23年7月15日～平成23年9月30日
工事種別	下水道工事
工事概要	<p>島根県松江県土整備事務所が道路改良工事を行うことに伴い、下水道マンホール蓋の調整が必要となり、島根県松江県土整備事務所からの依頼を受け、マンホール蓋の高さ調整工事を行うもの。</p> <p>マンホールの嵩上げ</p> <p>1号マンホール N = 7箇所</p> <p>塩ピマンホール N = 2箇所</p> <p>500 桧 N = 1箇所</p>
随意契約の理由	<p>本工事は、島根県松江県土整備事務所が発注し、カナツ技建工業株が受注した道路改良工事に伴う下水道マンホールの嵩上工事であり、道路改良工事と一体的かつ連続的な施工手順を必要とする。</p> <p>また、車両の交通量も多く、安全管理上、新たな業者による施工は困難であり、該当工事受注者以外に対応ができないため。</p>
適用条項	<p>地方自治法施行令第167条の2 第1項 第2号</p> <p>【不動産の買入れ又は借入れ、普通地方公共団体が必要とする物品の製造、修理、加工又は納入に使用させるため必要な物品の売払いその他の契約でその性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき。】</p>
契約金額(税込)	1,869,000円
見積の経緯及び結果	<p>平成23年 7月13日 見積書提出</p> <p>カナツ技建工業株と契約締結</p>

## 抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
業務名	青木川測量調査業務委託
委託期間	平成23年7月13日～平成23年11月30日
業務種別	測量業務
業務概要	業務延長 L = 110m 測量業務 1式 用地測量 A = 120百㎡
業務のランク	なし
指名業者数	9社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、測量業務登録のある市内業者のうち、下記 の要件を満たす27社のうち9社をローテーションにより選定した。 測量士が1名以上在籍すること。
入札参加業者数	9社
契約金額(税込)	3,150,000円
入札の経緯及び結果	平成23年 7月11日 開札 (株)ネオテックに落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)

## 【報告事項について】

## (契約検査課長挨拶)

- ・今回は平成23年度に入ってからのお客様についてご審議いただく。工事が115件、業務委託が31件あった中から5件を抽出いただいている。今回は落札率が高い又は低い案件が選ばれていると聞いている。今年度から設計金額1千万円以上の工事については入札希望価格を廃止しており、また、業務委託についても低入札価格調査制度を試行導入して2年目を迎えている。そのようなところが、入札の状況にどのように反映されているかという点についても、お気づきの点があれば、委員の皆様からご意見をいただきたい。
- ・報告案件の中で指名停止について、直接の審議対象ではないが、物品その他業務において、多数事例が発生している。その大半が、落札決定後の契約辞退という事例だったが、要因としては、年度が変わったばかりのところでの入札だったので、業者に不慣れな方が多かったことがあるのではないかと推察している。既にご承知のとおり、8月には東出雲町と合併し、さらにそのような業者が増えている状況があるので、制度の周知に努めていかなければならないと思っている。いろいろな場を借りて制度周知に努めながら、一層の公平公正な入札制度の確立に努めてまいりたい。
- ・本来であれば、合併をしているので7月までの旧東出雲町の案件も把握報告しなければならないと思っているが、入札制度が違うということもあり、今回は合併前の松江市区のみを報告審議対象とさせていただく。ただし、年度末に向けては、旧東出雲町の案件についても整理をし、最終的な報告をさせていただきたいと考えている。

## 1. 落札率等の状況について

## (報告要旨)

## [建設工事]

- ・平成23年4月から7月までの落札率は、調査基準価格等を設定しないものを除き、90.22%と、前年度同時期と比較して0.46ポイント上昇している。
- ・月別入札件数と落札率の推移について、前年度と比較すると6月の落札率が高くなっている。これは、土木の港湾工事、管工事及び電気工事等について落札率が高い傾向にあったことが要因の一つと思われる。特に土木の港湾工事がこの時期に集中しており、落札率が98%台、金額的にも1千万円から4千万円のもの3件あり、落札率に影響していると考えられる。
- ・工種別の落札率について、前年度と比較すると大きな変化は見られない。
- ・価格帯別の落札率推移については、前年度比較で2千万円未満までの低価格帯では落札率が低く、2千万円以上では落札率が高い傾向にある。落札率が高かった価格帯は、2千万円から3千万円、4千万円から5千万円のところとなっている。
- ・登録工事業者の分類表について、8月に東出雲町との合併があったことから、今年度4月時点と8月時点の比較をしている。市内業者は38社増え、市内業者以外は27社減少しており、これは主に、合併に伴い東出雲町業者が市内業者以外から市内業者へ移行したことによるものである。

## [業務委託]

- ・平成23年4月から7月までの落札率は94.41%で、前年度1年間と比較して4.47ポイント上昇している。
- ・月別入札件数と落札率の推移について、6月の落札率が前年度比6.31ポイント高くなっている。これは、主に測量業務の落札率が高い傾向にあったことが要因と思われる。7月も落札率が高くなっており、土木設計で設計額が高いものについて、落札率が比較的高かったことが一因と推測される。
- ・業種別の落札率について、前年度と比較して、測量及び建築設計が全般的に落札率が高くなっている。土木設計は、設計額が高いものについて、落札率が比較的高くなっている。
- ・価格帯別の落札率推移について、特徴があるのは、5百万円から1千万円のところが特に落札率が高くなっており、業種としては測量業務が集中している。その他の価格帯については、全般的に落札率が上昇している。

## 2. 入札方式別発注工事等の状況について

## (報告要旨)

- ・対象期間においても例年のとおり、指名競争入札よりも一般競争入札の方が落札率が低くなっている。
- ・落札率を前年同期と比較すると、一般競争入札は1.79ポイント高く、また指名競争入札は2.5ポイント低くなっ

ている。一般競争入札について、一つ目の抽出案件にもある特別共同企業体発注工事や土木の港湾工事4件等は、契約金額の高いものについて落札率が高くなっている傾向にある。一方で、今回の対象期間では、落札額が調査基準価格を下回り低入札価格調査を実施して落札決定した案件が、土木や建築で多数あり、案件によっては競争性が高まっている状況も見受けられる。ちなみに、低入札価格調査案件は前年度同期で3件、年間でも6件となっており、件数だけですでに上回っている状況である。

質問及び意見	回答
<p>建設工事において、港湾工事の落札率が高くなっているという報告があったが、どのように分析しているか。</p>	<p>海洋工事ということで、消波ブロックを製作・設置するなど、専門技術者がいることや設置するための大きな船を保有していること等の条件面があり、工事の特殊性から落札率が高止まりしているのではないかと考える。</p>

【審議事項について】

1. 一般競争入札【松江市立津田小学校屋内運動場建設（建築）工事】

（説明のポイント）

- ・建物の老朽化の進行に伴い、小学校屋内運動場の新築工事、旧屋内運動場の解体工事及び付帯工事一式を行うものである。新築するのは一般的な屋内運動場の形状である。
- ・入札参加資格は、市内業者で、本案件は2億5千万円を超える工事のため一般競争入札取扱方針に従い、格付要件を満たし、また、一定の施工実績を有する特別共同企業体としている。
- ・配置予定技術者については、建設業法の定めにより特別共同企業体の代表者は監理技術者を専任で配置、また、特別共同企業体の構成員は主任技術者を専任で配置できることを条件としている。
- ・この条件で入札に参加できる業者数は、入札公告をした時点で、構成員になれる業者数が19社、代表者になれる業者数がうち18社である。
- ・入札参加資格確認申請数は3JV。入札参加者数は、1回目は3JV、2回目は1JVが辞退し、2JVである。参加した3JVいずれも3社で構成するJVであり、業者数で見ると参加可能業者数のうち約半分の9社がこの案件に参加していることになる。

質問及び意見	回答
<p>参加可能な業者数が18社ないし19社として、うち参加した業者数が9社というのは、多いと感じているか、それとも少ないと感じているか。</p>	<p>通常単独の一般競争入札においても、2、3社しか参加しない工事もあれば、参加可能業者のうち半数程度参加する工事もある中で、全体の約半数が参加していれば比較的多い方なので、その点に違和感はあまり感じていない。</p>
<p>入札調書の書き方について、調書ごとに開札日時が異なっているが。</p>	<p>1回目の入札日時が5月20日9時30分、2回目の開札日時が5月20日10時1分、本件は事後審査型のため、落札決定日が5月24日である。</p>
<p>1回目の入札から2回目の開札まで約30分間しかないが、その間の経緯はどのようになるか。</p>	<p>1回目の開札時に業者はパソコン前で結果を待っているため、再入札を行う時点で、入札期限を付して再入札通知を電子上で各社に送付する。</p>
<p>この調書の書き方はわかりにくいかもしれない。</p>	<p>検討するが、電子入札システムから帳票が出てくるため、調整が難しいかもしれない。</p>
<p>1回目が終わってから2回目までの時間が短いように感じるが。</p>	<p>逆に時間が空きすぎると、業者側が席に居ないことも考えられ、業者側の要望としては速やかに再入札をしてほしいと聞いている。また、本件は電子入札であるが、紙</p>



<p>このような取り扱い、入札公告では記載されているか。</p> <p>この委員会で特別共同企業体の案件については、以前議論がなされた記憶があるが、事務局としてその後の状況を把握しているか。</p> <p>本案件は適切に手続きを行われているということによるしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p> <p>今後ともJVの案件については、継続的に動向を調査、分析していただきたい。</p>	<p>入札の場合は、連続して行うのが通常で、業者としても、2回目の入札をその場で考えるのではなくて、事前に検討しているものだと聞いている。</p> <p>入札回数を2回とする点については、6.入札手続等の(4)イのところに記載している。</p> <p>以前にご協議いただいてから、事務局としても特別共同企業体参加工事の入札状況を追跡しており、平成22年度は以前と比べて落札率が下がっている。平成20年度に本案件と同じ条件で発注した「第一中学校校舎大規模改修(建築)2期工事」は、落札率が78.87%ということで低入札価格調査工事となっている。他の案件に比べて落札率が高いものが目に付くので、継続して経過を見る必要があるけれども、全体的に見て、落札率も上がり下がり下がりという状況がみられる。</p>
---	---

## 2. 指名競争入札【市道界橋通線外3線側溝改良工事】

### (説明のポイント)

- ・側溝改良工事で施工延長は全体で140.5m、アスファルト表層工が156㎡、雑工として道路標識や道路反射鏡を施工するもの。
- ・工事のランクは、土木一式工事でB、C、D等級から選定するもの。
- ・指名選定の考え方は、土木一式工事登録のある市内業者で、建設業法に規定する主たる営業所が松江市橋南地区にある66社から10社をローテーションにより選定した。
- ・契約金額は8,904,000円、落札率は99.79%である。
- ・指名業者数は10社、実際の入札参加業者は8社である。
- ・本工事は落札率が高いことで抽出されているが、全般的に1千万円未満の工事は落札率が高い傾向にある。設計金額が低い工事については高い工事に比べて利潤が少ないので、業者が高めに見積もり落札率が高めに推移しているのではないかと推察する。また、本工事の特徴として、道路幅員が狭いこと、路面下にガス管等地下埋設物が輻輳していることが挙げられ、試掘等に経費を要するため各社応札額が高めになっているのではないかと推察する。

質問及び意見	回答
<p>ローテーションによる選定方法というのは、対象を細分化しているのか。それともある程度グループ分けしているのか。</p> <p>通常ローテーションによる場合、業者が大体同じ顔ぶれになるのか。</p> <p>全体の66社というのは変動がないのか。</p>	<p>地域性を加味しながら、回数が平準化するように選定している。</p> <p>全く同じということはあまりない。</p> <p>業者登録の状況が変われば変わってくるが、年間を通じてということになるとほとんど変動がない。</p>

<p>側溝改良工事だが、雨が降ったりした時の対応も含めて行われたものか。</p> <p>ローテーション方式について、入札の一つの手法であるが、競争性を確保するということと、業者のことも考慮してということになるが、うまく機能しているか、今後ローテーション方式についても、この入札監視委員会でこれからの動向を注視していきたい。</p> <p>例えば同じ地域の工事が同時期に重なると、業者も重なることになるので、地域割りの仕方も影響するのではないか。</p> <p>工事のランクがB等級又はC等級又はD等級の中から選定するとあるが、選定基準をみるとA等級も10%以内と記載してある。確かに0社も10%以内には含まれるが、本件の場合、0社なのでB等級又はC等級又はD等級の中からという書き方がしてあるという考え方でよいか。</p> <p>本案件は適切に手続きを行われているということによるしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>雨が降った時に側溝の流れが悪く、溢れたりする状況があり、住民の方からの要望も受けて行ったものである。一部蓋が壊れていたり、勾配がなかったりという状況もあったので改良するものである。</p> <p>そのように考える。</p> <p>はい。</p>
---	---

### 3. 指名競争入札【松江市総合福祉センター電話交換設備改修工事】

(説明のポイント)

- ・設備の老朽化に伴い、電話交換機及び電話機を改修するものである。
- ・電気通信工事登録のある市内業者14社から全者を指名選定した。
- ・最低制限価格を適用しない工事である。
- ・契約金額は1,869,000円、落札率は49.40%である。
- ・本案件の入札における特徴としては、無効札も含めて極端に安い金額で入札した業者が4社ある。同じ電気通信工事の建設業許可を持っている全14社の中で、この4社は通信工事の専門工事会社であり、通信設備製造メーカーと日常的な付き合いがあり、機器等を安く購入できたのではないかと分析している。

質問及び意見	回答
<p>機器比率が高いから落札金額を下げる事ができたと思うが、本件は指名競争入札で、一方前回委員会では「IP電話整備工事」は随意契約で高い請負率になっており、確かに工事内容が異なると思うが、今回の案件は「IP電話整備工事」とは異なり、同じシステムでも単なる機器の交換にすぎないということを強調した方がよいと思うが。</p> <p>本案件は適切に手続きを行われているということによるしいか。</p>	<p>少し専門的になるが、「IP電話整備工事」はNTT内部のシステムを改修するもので、本件は松江市所有の建物の中のシステムを改修するものということで、ご指摘のとおりだが、同じシステムという言葉を使っているけれども、内容が違うものである。</p>

(全委員、了承。)	
4. 随意契約【美保関町マンホール高上工事】	
(説明のポイント)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は、島根県松江県土整備事務所が発注した道路改良工事に伴い、下水道マンホール蓋計10個の高さを調整、嵩上げするものである。</li> <li>・随意契約の理由は、道路改良工事と一体的かつ連続的な施工手順が必要となり、また、海岸線の集落を結ぶ道路であり、他に迂回路がなく、車両の交通量も多いことから、安全管理上、新たな業者による施工が困難であり、道路改良工事受注者以外に対応できないため、対象業者と随意契約を締結するものである。</li> <li>・現場は、道路幅員が約3mと狭小で、自動車のすれ違いが困難な状況で、歩道もなく、見通しの悪い一車線道路である。</li> </ul>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>これは道路法の道路占用許可が在るものか。</p> <p>本案件は現場が狭いという特殊な環境で他の業者が選ばなかったということだが、例えばもし道路幅が広い場合は、道路改良工事と重なっても入札を行うことはあるか。</p> <p>本案件は適切に手続きを行われているということであるが、よろしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>はい。</p> <p>本案件は道路が狭いということで十分な作業スペースがとれないということだが、道路幅員が広く、作業スペースが確保できれば可能である。</p>
5. 指名競争入札【青木川測量調査業務委託】	
(説明のポイント)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この業務委託は、将来河川改修工事実施に向けた設計資料作成のための現地測量、縦横断測量、用地測量を行うものである。</li> <li>・指名選定の考え方は、測量業務登録のある市内業者のうち、測量士が1名以上在籍することを条件に、これらを満たす27社からローテーションにより9社を指名した。入札参加業者は9社全者である。</li> <li>・落札率が高いことから案件抽出されているが、業務委託全般の業種別落札率推移表を見ると測量業務は他の業務に比べて落札率が高くなっている。本案件も含めて測量業務の中には用地測量が含まれており、用地測量は官民境界または民民境界を確定する業務があり、住民のみなさんに現地に出向いて境界を決めていかないといけないことから、人件費も要し落札率が高くなっているのではないかと推察する。</li> </ul>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>この川は準用河川か。</p> <p>ローテーション方式ということだが、業務委託の場合はどのように選定するのか。</p> <p>その場合、この業者は前回指名しているから間を置くというような調整をしているのか。</p> <p>業務委託については全体的に落札率が上がっているので、今後の経過を注意して見ていきたい。本案件は適</p>	<p>普通河川です。</p> <p>業務委託の場合は、ほとんど地域性は考慮していない。業務の特殊性を考慮しながら、回数が平準化するように調整している。</p> <p>測量業務については、大体3回に1回は選定するようになる。</p>

<p>切に手続きを行われているということによろしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	
<p>【報告事項】</p>	
<p>1. 指名停止等の運用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の期間中、建設工事関係では、1件1社について指名停止措置を行った。この案件は本市発注工事で発生した公衆損害事故であり、松江市建設工事競争入札参加資格者指名停止要綱及び指名停止措置の運用基準に従い、指名停止措置を行った。</li> <li>・指名停止以外の措置として、1件1社に注意文書を送付した。これは、島根県が行った工事の入札で、落札したにもかかわらず電子入札における入札金額入力誤りのため、契約締結を辞退したとして、県では1か月間の指名停止としている。本市としては、松江市が行う入札ではなく、島根県が行った入札で起こった事象のため、指名停止は行わず、書面による注意喚起を実施した。</li> </ul>	
<p>【その他】</p>	
<p>〔次回開催予定について〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抽出対象期間は平成23年8月1日から平成23年11月30日とし、抽出委員は松江市入札監視委員会運営要領の規定により、後藤委員とする。</li> <li>・平成24年2月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>	